

「春王正月」
睦月立つ
春のしづけを歩み出で、
道に日あたる
ひとつ木を見つ
「遠やまひこ」
釈 道空

国学院大学

平成30年1月10日(休) 定期号(毎月10日発行) 1部20円
【発行】国学院大学 【編集】総合企画部広報課 〒150-8440 東京都渋谷区東四丁目 【電話】03(5466)0130 【FAX】03(5466)0528

祭儀 ■ 月次祭 2月1日(木) 午前10時 神殿 ■ 建国記念祭 2月11日(日・祝) 午前11時 神殿

魅力ある教育の実現へ好機

平成30年戊戌の年を迎えた。昨年の世界を振り返れば、米・トランプ大統領の就任をはじめとする自国第一主義が世界的に広がりを見せるなど不安定要素が顕在する一年だった。国内に目を向ければ、天皇陛下のご譲位が来年4月末に決まり、バブル経済の崩壊、IT革命、東日本大震災など激動ともいえる時代が一つの区切りを迎えようとしている。

2年半後に迫った東京五輪・パラリンピックに向け世界から日本が注目される一方で、この国は高齢化や人口減少をはじめ多くの課題を抱えている。特に少子化により受験期の18歳人口が急減する「2018年問題」は、質の高い教育の実現を大学に厳しく問いかけている。

こうした潮流の中、国学院大学は、21世紀研究教育計画(第4次)に掲げた「人文・社会科学系の標」を、いかに実現させるか。昨年の創立135年の節目を経て、新たな

な5年、10年
へ向け、学生、
教職員、卒業生
それぞれの営みと
挑戦は続く。

今季は人間開発学部と教育開発推進機構が開設10年目を迎える。社会の要請に応え、建学の精神に基づく「人づくり」にかける真つすぐな思いをさらに飛躍させる好機といえる。新年を飾る今号では戌年をテーマに、戌年生まれの院友に新年の抱負を伺ったほか、民俗学の専門家から干支にまつわるエピソードを寄せてもらった。

【6・7面詳細】



初日の出の陽射しを浴びる若木タワー＝1月1日

歳旦祭を齋行

歳旦祭(齋主・大野靖仁神職奉齋員・神道研修事務部長)が、1月1日午前11時から渋谷キャンパスの神殿で執り行われた。坂口吉一理事長、赤井益久学長をはじめ、本法人傘下諸学校の役教職員・学生などが参列し、今年一年の平安と、本法人の隆昌を祈念した。その後、若木タワー18階の有栖川宮記念ホールで直会(新年祝賀会)が開催された。

坂口理事長は、「今年



が、成果が上がる年とすべく『オール国学院』を胸に教育機関の教職員一丸となって邁進せねばならない。18歳人口が減っていく『大学淘汰の時代』に入ってきた。この5年間が我々にとって将来を左右する大事な時期。各教育機関が21世紀研究教育計画(第4次)に沿って遂行できるように、ガバナンス、財政基盤の強化に取り組んでいく」と、赤井学長は「大学は『量から質へ』が合言葉になっていく。質の保証・向上に取り組んでいきたい」とそれぞれ挨拶した。

みはるかすもの

成年がスタートした。株式市場の相場格言で「戌笑う」と呼ばれ、縁起の良い年とされる。上昇が続く日経平均株価の恩恵に期待する読者も多いことだろう▼国内のペット数は、昨年初めて猫の数が犬を上回ったという。猫ブームに加え、飼い主の高齢化や一人暮らし世帯の増加も影響しているようだ。太古の昔から人間の営みを支え親しまれてきた生き物が、現代社会の中では、必要以上に手間がかかる存在になってきているというところか。愛犬家には寂しい話題だ▼動物といえは出版界で、今泉忠明監修の『おもしろい! 進化のふしぎ』(ぎんねんいきもの事典)シリーズ(高橋書店)が、ベストセラ

ーとなり話題を呼んだ▼「ラッコはお気に入りの石をなくすと、ごはんが食べられなくなる」。「チンパンジーは愛想笑いをする」。洗練された能力がある動物たちだから過酷な自然環境を生き抜ける」という我々の勝手なイメージを覆すエピソードにあふれている▼登場する動物たちの「ぎんねん」は進化の過程から生まれたもの。自然の中で生き抜き、種を残してきたがゆえに多様な「ぎんねん」が生まれる。そのバランスの上に自然界が成り立っているともいえるだろう▼「いまはぎんねんに思えても、これから生き残るためにじつは大切な能力なのかもしれない」。自己と他者を比較し、時に悦に浸り、時に焦り嫉妬する人間の弱さをこの一冊は見透かしているかのようにも思える。

平成30年度一般入試 出願始まる

平成30年度の本学一般入学試験の出願が1月4日から始まった。大学入試センター試験利用入試V方式（I期）は12日（金）、一般入試A日程は19日（金）、同B日程は2月19日（月）、大学入試センター試験利用入試V方式（II期）3月3日（土）まで出願を受け付ける（当日消印有効）。

S-SAP協定 区・加盟団体 協働へ親睦を深める

学校法人国学院大学が加盟する「シブヤ・ソーシャル・アクション・パートナー協定（S-SAP協定）」の懇談会が昨年12月21日に渋谷キャンパス有栖川宮記念ホールで行われた。同協定は、渋谷区と民間企業や大学などの持つ技術やノウハウを活用し、協働して地域社会の課題解決を図るためのもの。本法人は昨年7月に区と協定を締結した。

懇談会には、渋谷区・協定加盟の企業15社・4大学から約60人が参加。大学・来賓代表として挨拶に立った赤井益久学長は「渋谷に拠点をおく企業・大学・NPO等が連携しあい、よりよい社会に結びつけていければ」と今後の抱負を語った。

博物館 企画展「いのちの交歓—残酷なロマンティスム—」がスタート

国学院大学博物館で企画展「いのちの交歓—残酷なロマンティスム—」（岡本太郎記念館協力）が昨年12月16日から始まった。今回の展示は生命観を問い直す試みで、岡本太郎作品計9点、現代芸術作品、遺跡出土品などさまざまな資料を展示している。

初日のオープニングイベントでは、ドキュメンタリー映画「久高オデッセイ 第3部 風章」（沖縄映像文化研究所）上映と上智大学特任教授の鎌田東二氏による解説が行われた。

同企画展では、関連イベントとして、2月10日（土）午後3時から画家の田中望氏と彫刻家の藤原彩人氏によるトークセッションを、24日（土）午後3時から当館の石井匠学芸員（岡本太郎記念館客員研究員）によるミュージアムトークを開催する。いずれも予約不要、入場無料。会期は、2月25日（日）まで。



日本人の仮装文化を2氏が講演

国学院大学博物館で行われた特集展示「祭礼と仮装（コスプレ）」の関連企画として昨年12月9日に講演「祭礼と仮装風流」が渋谷キャンパス120周年記念1号館1103教室で開催された。

仮装文化の一つ「^{どわか}俄」をテーマに武蔵大学の福原敏男教授と大阪芸術大学の西岡陽子教授が講演し、当時の個性的な仮装を絵画や映像資料を使いながらユーモアたっぷりに紹介した。



国内外派遣研究員決まる

国学院大学の平成30年度派遣研究員「研究課題」研修先、派遣期間が次の通り決定した。

【国内派遣研究員】

- ◇**文学部**：山西治男教授「英米文学・文化研究—G・ロツクリンを中心に」国学院大学図書館、カリフォルニア州立大学ロングビーチ校（米国）、4月1日～平成31年3月31日▽呉鴻春准教授「齋藤拙堂の文論と明清の文学思潮」三重県立図書館、東洋文庫、復旦大学中文科（中国）、4月1日～平成31年3月31日▽中村正明准教授「安永・天明期（1772～1789）に刊行された黄表紙初期の作品や戯作類を中心に研究を行う。特に、黄表紙を創始したとする恋川春町について、黄表紙のみならず彼の携わった狂歌、狂文などの全ての戯作活動を考究する」国学院大学図書館、国立国会図書館、東京都立中央図書館など、4月1日～平成31年3月31日
- ◇**法学部**：植村勝慶教授「イギリスの王位継承制度と日本の皇位継承制度の比較憲法的考察」国学院大学法学部研究室および法学資料室、国立国会図書館官庁資料室、4月1日～平成31年3月31日▽高橋信行教授「第3共和政末期から第5共和政初期までのフランス公法学の展開—ルネ・カピタンを中心に—」慶応義塾大学、国学院大学、4月1日～平成31年3月31日
- ◇**経済学部**：高木康順准教授「耐久消費財支出と企業の労働需要・投資を共通の基盤から導出し、マクロ経済成長の変動を説明する統合的なモデルを構築し、日米のSNAデータから実証する」慶応義塾大学産業研究所、4月1日～平成31年3月31日
- ◇**神道文化学部**：遠藤潤准教授「19世紀日本における神道・宗教の編成過程に関する研究—平田国学の総合的再検討を中心として—」国立国会図書館、国立歴史民俗博物館、秋田県公文書館、京都学・歴史館、東京大学史料編纂所、東京都公文書館、豊橋市立中央図書館など、4月1日～平成31年3月31日
- ◇**文学部**：笠間直穂子准教授「シャルル・フェルディナン・ラミュにおける空間描写」ローザンヌ大学文学部ロマンド文学研究所（スイス）、4月1日～平成31年3月31日
- ◇**法学部**：稲垣浩准教授「日本との比較を通じた戦後イギリスにおける地方制度改革の歴史的分析」ケンブリッジ大学クレアホール（英国）、10月1日～平成31年9月30日
- ◇**経済学部**：大西祥恵教授「社会的に不利な立場にある人々を対象とした社会政策に関する研究—イギリスと日本を事例とした比較研究—」バークミンガム大学（英国）、10月1日～平成31年9月30日



「渋谷4大学包括協定」の締結にあたり挨拶する赤井学長

本学をはじめとする東京都渋谷区内にキャンパスをもつ4大学が昨年12月19日、各大学の持続的な発展と新たな価値の創造に寄与することを目的とした包括協定を青山学院大学青山キャンパスで締結した。

青山学院大学の三木義一学長は「渋谷という恵まれた立地条件を生かし、魅力を発信したい」、実践女子大学・同大学短期大学部の城島栄一郎学長は「渋谷をテーマにした研究会なども共同で行いたい」、聖心女子大学の岡崎淑子学長は「社会人や外国人に向けた、いろいろな企画と一緒に開催していきたい」とそれぞれ話した。

「渋谷4大学包括協定」締結

「渋谷4大学包括協定」を締結した（左から）青山学院大学の三木義一学長、赤井益久学長、実践女子大学・同大学短期大学部の城島栄一郎学長、聖心女子大学の岡崎淑子学長。いずれも昨年12月19日、東京都渋谷区の青山学院大学青山キャンパス



平成29年度第1回学生部長賞

3団体と15人が受賞

学生部は平成29年度第1回学生部長賞を3団体と15人に贈ることを決定した。同賞は課外活動において素晴らしい成績を収め、本学の名を大いに高めた学生を表彰するもの。表彰式は3月に実施する予定。

受賞。個人の部では第29回ユニバーシアード競技大会柔道男子60kg級で優勝した藤阪泰恒選手(健体3・柔道部)が3年連続の受賞となった。受賞団体・個人は別表の通り。

団体の部ではUSA School & College Nationals 2017全国大会大学編成Pom部門Smallで優勝したドリル競技部SEALSなどが

平成29年度関東学生スポーツ射撃選手権大会秋季大会の50ライフル伏射60発競技男子個人で準優勝を果たした射撃部・小林直人選手(史4)のインタビューをK・D・N A II面に掲載。



●団体

Table with 2 columns: 団体名, 対象事項. Lists awards for Soft Tennis, Drilling, and Guitar.

●個人

Table with 2 columns: 氏名(所属), 対象事項. Lists individual award winners in Judo, Baseball, Skiing, Tennis, and Table Tennis.

大学院講演会 学統や研究の変遷を語る

本学大学院は、進学希望者を対象に、講演会・進学相談会を昨年12月9日に行った。

講演会では、豊島秀範文学部教授が「学問をすること」と題し、本学の母体である皇典講究所の開設以来の学統や源氏物語研究の変遷について解説した。

続く進学相談会では、研究科・専攻ごとにブースが設けられ、個々の疑問に、教員や院生アドバイザーが細やかに応じた。



三田国際学園中 本学学生に特別講義

三田国際学園中学3年生11人が昨年12月9日、本学を訪れ、教職実践演習(担当:高橋大助文学部教授)を履修する学生に対して、特別講義を行った。

生徒たちは、中学2年次から同校の文学ゼミに所属し、村上春樹の小説「パン屋再襲撃」を題材に、3グループに分かれて研究に取り組んできた。

当日は大学生を前に、フロイトの夢分析を参考に解釈するなど、独自の視点から読み解いた「パン屋再襲撃」について10分程度のプレゼンテーションを披露。聴講していた本学学生が、質問を投げかけたり、中学生の発表にアドバイスをしたりしていた。



法学会講演会 大和田氏 福島のいまを学生に語る

法学会が主催する講演会が1月9日、渋谷キャンパスで開かれ、「伝えることの大切さ、伝わることの素晴らしさ-東日本・津波・原発事故大震災のいま-」と題して、フリーアナウンサーの大和田新氏が「福島のいま」を語った。

福島県内のFMラジオ局でアナウンサーとして38年間勤務した大和田氏は、『東日本・津波・原発事故・大震災』と言わないと福島県民の悲しみ怒り不安は伝わらない」と語る。未曾有の大災害から7年の節目を前に自身が取材してきたエピソードを紹介し「メディアは数字で震災を伝えてきた。(震災の犠牲者が)2万人ではなく、一人一人の死が2万ある。そしてその家族が何倍もいて今も戦っている」と「福島のいま」を学生たちに訴えかけた。



●明治・大正・昭和を生きた研究者秘話

悲運な実証史学者・澤田章

学問ノ道

第5回

澤田章は明治9年(1876)、愛知県中島郡法花寺村(現、稲沢市)に桜木新三郎の次男として生まれた。27年国学院入学。30年卒業。卒業後、東京帝国大学文科大助手、同図書館司書を経て、同44年三井家史編纂事務を嘱託された。その間、京都の澤田家の養女と結婚し、澤田姓を名乗ることになる。また、42年から国学院大学の講師となり、「徳川史(吉宗以降)」「現代史(明治史)」をして上梓された。続く『西陣織屋仲間の研究』は三井家の呉服事業史編纂のなかで生まれたものであるが、三井家の史料が非公開という状況で、少数数の非売品としての刊行であった。そして『明治財政の基礎的研究』は、亡くなった次男萬の5周年の記念としての出版とした。本書は「井上馨伝」編纂のために澤田が大蔵省文庫の史料を筆写収集

したものを主として利用した。このように澤田の著作は非公開の三井家史料や関東大震災で焼失した大蔵省文庫史料を利用してのものであり、かなり制約のあるものであった。昭和9年12月31日死去。『明治財政の基礎的研究』が出版された月であった。同書の書評などを澤田が見ることはなかった。戦後、1960年代に上記の2書は復刻出版され、広く学界に知られるようになり、三井文庫の史料も公開され、澤田の筆記した大蔵省文庫の史料も広く利用されるようになった。



古山悟由(図書館事務課主幹)



古山悟由(図書館事務課主幹)のコメントや追加情報。

第21回全国高校生創作コンテスト

文部科学大臣賞に横浜翠嵐高(神奈川)

1万9999点 最多の応募



赤井学長、審査員らを囲んで創作コンテスト入賞者が記念撮影

全国高校生創作コンテストは、創作活動を通じて文章を書く喜び、ものを創り出す苦しさを、自分の考えを言い表す難しさを感じ取りながら、美しい日本語の再発見と学修を目的として平成9年から開催されている全国規模のコンテスト。今回で21回目を迎え、全国から1万9999点の応募があった。内訳は、短篇小说

604点▽現代詩の部1378点▽短歌の部4200点▽俳句の部1万3108点だった。

厳正な審査の結果、文部科学大臣賞、特別学校賞および各部門の最優秀賞、優秀賞、佳作、入選がそれぞれ決定した。別表参照(敬称略)。

文部科学大臣賞に横浜翠嵐高(神奈川)が、特別学校賞に麻生高(神奈川)と西日本短期大学附属高(福岡)が選ばれた。

表彰式は、昨年12月3日に渋谷キャンパスで入賞者および関係者、審査員、赤井益久学長、加藤圭子若木育成会会長、加藤元茂院友会常務理事、村田光英高校生新聞社編集局長らが出席して行われた。主催者を代表して挨拶に立った赤井学長は「創作活動は地道だが、この営みを後援することが日本語を重視する国学院大学の務め」と語った。

短篇小说の部

◎佳作 長谷川佐和(神奈川・横浜サイエンスフロンティア高3年) 「感情エネルギーの法則」▽佐藤朱里(千葉・国府台女子学院高2年) 「椿葉うさぎ」▽生天目咲樹(千葉・東葛飾高2年) 「実り」▽中庭里沙(大阪・岸和田高2年) 「泳げない人」▽白石明代(熊本・御船高1年) 「ナナコ」

◎入選 村田菜月(東京・朋優学院高2年) 「今日僕は傘を忘れたことになっている。」▽高橋芽意(千葉・麗澤高1年) 「マカロン・トイレトーパーのロマンス」▽岩木ひより(長崎・聖和女子学院高3年) 「願いの石」▽坪井元春(岡山・津山工業高専2年) 「緑色の日記」▽児浦利幸(東京・海城高2年) 「ストライキ」▽草刈邑依(青森・弘前高2年) 「カッター」▽原田真緒(福岡・明善高2年) 「モルモット」▽松原芽



衣(富山・富山高3年) 「彼岸花の追憶」▽渡邊奈緒(宮城・常盤木学園高3年) 「STAGE」▽梶智暁(東京・クラーク記念国際高東京キャンパス2年) 「三分間」

現代詩の部

◎佳作 関谷実咲(神奈川・麻生高2年) 「時間」▽金森悠夏(宮城・聖ウルスラ学院英智高3年) 「女の子」▽加藤優奈(埼玉・鴻巣高

2年) 「The West Exit (西口)」▽宇草和弥(香川・観音寺第一高2年) 「雨の日」▽原唯菜(神奈川・横浜翠嵐高3年) 「虚偽の申告」

◎入選 柳田琴音(埼玉・深谷商業高1年) 「昼夜と電車」▽沖村南美(群馬・桐生女子高1年) 「意識」▽山野あやね(奈良・奈良北高3年) 「十分(或いは放課後)」▽小野木葉月(長野・諏訪清陵高3年) 「海と人間」▽村松苗青(神奈川・麻生高3年) 「そして私は制服を着る」▽川嶋美沙希(神奈川・麻生高2年) 「慈悲深き希望論」▽小村瑠菜(神奈川・麻生高2年) 「僕には聞こえない」▽矢田安侑子(神奈川・麻生高2年) 「色鉛筆のはぐれ者」▽内山綾(東京・麹町学園女子高2年) 「画面の向こう」▽石井琢朗(岡山・津山工業高専2年) 「ごんご」

短歌の部

◎佳作 黒田陽嵩(福岡・西日本短期大学附属高3年)▽安村玲美(神奈川・聖ヨゼフ学園高3年)▽岸本恵美(大分・爽風館高通信制)▽高草木佑弥(群馬・太田高1年)▽保志(埼玉・慶応義塾志木高2年)

俳句の部

◎佳作 松澤菜奈(埼玉・上尾南高3年)▽河野伊吹(鹿児島・ラ・サール高1年)▽内野有咲(福岡・西日本短期大学附属高3年)▽白井翔志(茨城・常総学院高2年)▽岩見優志(埼玉・慶応義塾志木高2年)

優秀学校賞(文部科学大臣賞)

横浜翠嵐高(神奈川)

特別学校賞

麻生高(神奈川)

西日本短期大学附属高(福岡)

短篇小说の部

- 最優秀賞 大貫瑠香「ハンバーグ爆弾」(茨城・日立北高3年)
優秀賞 紀川晴好「青を焚く」(福岡・福岡講倫館高3年)
芳岡未那「春の七草」(山口・徳山高3年)

現代詩の部

- 最優秀賞 丸山優月「道端に枯れた花」(神奈川・麻生高2年)
優秀賞 伊集院亜衣「辞書を引く」(神奈川・横浜翠嵐高2年)
山崎早恵「クレイハートの臨床試験」(神奈川・麻生高3年)

短歌の部

- 最優秀賞 桐生莉緒(東京・日比谷高1年)
優秀賞 滝澤昂希(埼玉・伊奈学園総合高2年)
鶴本彩花(福岡・西日本短期大学附属高3年)

俳句の部

- 最優秀賞 山下茜莉(福岡・西日本短期大学附属高3年)
優秀賞 長澤大我(青森・七戸高3年)
原田千寿(福岡・西日本短期大学附属高3年)

審査員(敬称略)
◎短篇小说の部▽中村航(作家)▽傳馬義澄(本学名誉教授)▽井上孝雄(都立高等学校教諭)◎現代詩の部▽水無田気流(詩人・本学経済学部教授)◎短歌の部▽田中章義(歌人)◎俳句の部▽堀本裕樹(俳人)◇村田光英(高校生新聞社編集局長)

◎入選 村上瑛(岩手・水沢高3年)▽大橋愛香(愛知・幸田高1年)▽吉本沙生(京都・同志社国際高3年)▽北村祐(東京・安田学園高1年)▽福田星来(長崎・純心女子高1年)▽菅原はなめ(岩手・水沢高3年)▽松田将吾(岐阜・吉城高1年)▽町田萌絵(神奈川・麻生高2年)▽宮本船(東京・芝高3年)▽江崎美結(福岡・西日本短期大学附属高3年)

受賞者懇親会 今後の創作・研究の励みに

コンテスト表彰式終了後、有栖川宮記念ホールで両コンテスト合同の懇親会が開かれた。主催者を代表し、高校生新聞社の村田光英編集局長があいさつ。審査員からは、創作・研究活動の継続発展と今後の活躍への期待が示されたのに対し、最優秀賞を受賞した生徒からも受賞の喜びなどが語られた。高校生たちは審査員や他の受賞者と記念撮影したり、審査員から自身の作品の講評を聞いたりして、今後の創作活動・研究の励みにしていた。



第13回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト

折口信夫賞に利根商業高パソコン部(群馬)



審査員らと「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト入賞者が記念撮影

国学院大学とスクールパートナーズ社(高校生新聞)による第21回全国高校生創作コンテスト(協賛:国学院大学若木育成会・国学院大学院友会・国学院大学北海道短期大学部、後援:文部科学省・全国高等学校長協会・全国高等学校国語教育研究会)と、第13回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト(協賛:国学院大学若木育成会・国学院大学院友会・国学院大学北海道短期大学部、後援:文部科学省・農林水産省・全国高等学校長協会・全国高等学校文化連盟)の入賞作品を決定し、昨年12月3日に本学渋谷キャンパスで表彰式がそれぞれ行われた。今回は両コンテスト合わせて過去最多の1万9999点の応募があり大きな盛り上がりを見せた。

「地域の伝承文化に学ぶ」コンテストは、各地域に伝わる昔話や伝説、郷土料理や方言などの身近で当たり前の風景にある「地域社会」に目を向け、文化を掘り起こして向き合うことによって現在の私たちにできることを考えてもらおうと開催。また、本学の持つ伝承文化に関する資産に触れることで、さらに研究を深めてもらうことも狙っている。平成17年から開かれ、13回目となる今回は全国から709点の応募があった。応募の内訳は、地域文化研究部門の団体21点、個人460点▽地域民話研究部門の団体12点、個人194点▽学校活動部門22点だった。最も優秀な作品に授与される折口信夫賞に民話研究部門(団体)から利根商業高パソコン部(群馬)の「日本の心、地域の文化を伝えるために」が選出されたのははじめ、部門ごとに最優秀賞、優秀賞、佳作、入賞が決まった。別表参照(敬称略)。

渋谷キャンパス常磐松ホールで開催された表彰式には入賞者および関係者、審査員、赤井益久学長、加藤圭子若木育成会会長、加藤元茂院友会常務理事、村田光英高校生新聞編集局長らが出席。表彰式の後、各部門最優秀賞の団体・個人の受賞者が、それぞれの研究内容を披露した。

高校生向けコンテスト入賞者決定

国学院大学とスクールパートナーズ社(高校生新聞)による第21回全国高校生創作

地域文化研究部門(団体)

- ◎佳作 岐阜・益田清風高社会探究「ふるさとの川の恵み、郷土の宝『益田川』と私たちの暮らし」▽東京・香蘭女学校高諏訪信仰「諏訪信仰について」▽徳島・那賀高入形浄瑠璃部「人形浄瑠璃公演活動とおして地域の活性化を図るとともに阿波の情勢を研究する」
- ◎入選 青森・三本木農業高生活園

地域文化研究部門(個人)

- ◎佳作 山本明香里(東京・明治学院高3年)「雑司ヶ谷鬼子母神御会式に学ぶ」▽川嶋みずか(東京・大妻多摩高1年)「農家について本当に知ってる」秋田県横手市の農家の生活について」
- ◎入選 小杉恒太(群馬・高崎経済大学附属高2年)「高崎まつりにつ

箱膳を学んで」

芸研究室「十和田むらさきの栽培と紫根染め」▽神奈川県・秦野曾屋高日本史研究部「秦野における戸川砥の生産と流通」▽長野・北部高湯川 GO!「飯綱町の

審査員 敬称略

- ▽小川直之(本学文学部教授)▽新谷尚紀(同)▽花部英雄(同)▽高橋大助(同)▽常光徹(国立歴史民俗博物館名誉教授)▽佐藤美穂(本学客員教授)▽飯倉義之(本学文学部准教授)

折口信夫賞

「日本の心、地域の文化を伝えるために」
(群馬・利根商業高パソコン部)

地域文化研究部門

団体

- 優秀賞 「明治通りの調査」(東京・戸山高地理歴史部)
- 「今年も祖父江の虫送りを追って～杏和高校4年目の参加～」(愛知・杏和高郷土研究チーム)

個人

- 優秀賞 「ダンスで笑顔溢れる地域へ～テーマパークパレードの魅力地域活性化運動に取り入れる～」
- 高橋理歩(東京・東京大学教育学部附属中等教育学校3年)
- 「漬物は語る～世界に誇る日本食の起源とは～」
- 飯田真世(愛知・杏和高2年)

地域民話研究部門

団体

- 最優秀賞 「日本の心、地域の文化を伝えるために」(群馬・利根商業高パソコン部)
- 優秀賞 「佐野の舟橋・佐野の渡しの伝説」(群馬・高崎商科大学附属高社会部進学女子2年)
- 「下小島町の首塚伝承」(群馬・高崎商科大学附属高文芸部)

個人

- 最優秀賞 「川との死闘～与三と人柱観音像にこめられた思い～」坂東壮一郎(愛知・杏和高2年)
- 優秀賞 「東京・町田市における妖怪伝説」木原愛理(東京・和光高3年)
- 「チンチン山考」仲川晴斐(愛知・時習館高2年)

学校活動部門

- 優秀賞 「為朝外伝～東峰村で発見した母の墓～」(福岡・朝倉高)
- 「堺大空襲とは」(大阪・三国丘高)

「入賞作品集」を制作中

今回の入賞作品を掲載した『全国高校生創作コンテスト入賞作品集』を制作し、2月下旬に刊行の予定です。短篇小説と現代詩の部は佳作までの作品、短歌と俳句の部については入選まで全ての作品を収録。同作品集は、当課窓口で先着順に無料配布いたします。発送をご希望の方も受け付けますので、希望部数と送付先をご連絡ください。

また、『地域の伝承文化に学ぶ』コンテスト入賞作品集も2月下旬に刊行を予定しています。同作品集もまた、広報課で同様に無料配布いたします。

(問い合わせ先・総合企画部 広報課 ☎03・5466・0130)

地域民話研究部門(団体)

- ◎佳作 岐阜・益田清風高地域研究「民話『川上に流れた仁王さま』の世界」

地域民話研究部門(個人)

- ◎佳作 鈴木彩水(愛知・豊丘高2年)「豊川市の昔話」▽養島千東(愛知・杏和高2年)「愛知県弥富市『おみよしの松』」
- ◎入選 境倫果(青森・五所川原第一高2年)「綿絵の姉さま」

平成30年 大学および強化3部会の主な予定

1月	22日 ●後期授業終了 24日 ●学年試験 (～30日)
2月	2日 ●一般入試 A日程 (～4日) 26日 ●一般入試 B日程
3月	16日 ●大学院・法科大学院修了式 18日 ●卒業式 19日 ●スプリングセッション (～22日)
4月	1日 ●入学式 (学部) ●新制文学部第一部開設から70年 ●神道学専攻科、大学院神道学専攻博士課程開設から60年 ●法学部開設から55年 7日 ●授業開始 月内 ●硬式野球部・東都大学野球春季リーグ開幕
5月	1日 ●神穀鎮座記念祭 月内 ●若木体育祭 ●柔道部・東京学生柔道優勝大会
6月	1日 ●渋谷校舎授業開始から95年 3日 ●オープンキャンパス (渋谷・たまプラーザ) 月内 ●陸上競技部・全日本大学駅伝予選会 ●柔道部・全日本学生柔道優勝大会
7月	27日 ●前期授業終了 28日 ●前期試験 (～8月3日)
8月	4日 ●オープンキャンパス (～5日、渋谷・たまプラーザ) 6日 ●サマーセッション① (～9日)
9月	10日 ●サマーセッション② (～13日) 21日 ●後期授業開始 30日 ●オープンキャンパス (渋谷) 月内 ●硬式野球部・東都大学野球秋季リーグ開幕 ●柔道部・全日本学生柔道体重別選手権大会
10月	28日 ●オープンキャンパス (たまプラーザ) 月内 ●陸上競技部・箱根駅伝予選会 ●柔道部・全日本学生柔道体重別団体優勝大会
11月	4日 ●創立記念日 月内 ●若木祭 ●陸上競技部・全日本大学駅伝
12月	24日 ●年内授業終了

戌年

注目の院友

作家 若合春侑さん



若合さんは平成15年、当時44歳で本学文学部神道学科に学士入学。本学で学ぼうと思った動機は「私の中で一つの集大成と感じていた『蛭蛇』(角川書店)の出版が同じ15年でした。新しく前へ進むために、日本史や文化、特に神道を学びたいと考えたからです。多くの日本人と同じで、私も神仏混合の環境で育ちました。お寺は葬式などを通じて身近だったのですが、神社は初詣に参拝するくらいで、いまひとつよく分らない存在でした。一方で、高校はカトリック系、最初の大学はプロテスタント系といずれもキリスト教系の学校に通いましたので、神道がどのように違うかにも興味がありました。」

入学しての感想は「入学して当たりでした。授業が面白くて仕方なかったです。大学へ通うことがあまりにも楽しくて、小説を書く時間なんてありませんでした。」

印象に残っている先生や授業は「岡田莊司先生(現・神道文化学部教授)には「おみくじ」をテーマにした私の卒業論文を担当していただきました。制作の過程で、全国各地の神社仏閣向けにおみくじを作っている女子道社(山口県周南市)へ取材に行ったことが懐かしい思い出です。岡田先生からは「エッセイを読んでいるようだ」と評していただきました。」

神道学を学んだ感想は「神職資格を得るための実習で訪れた伊勢神宮のことですが、天照大神に抱かれていたような感覚を味わいました。不思議な体験でした。勉強を通じ、神道は優しさがあって、幅が広く興行のある、人間をまるごと包んでいるかのような宗教だと感じました。日本は、いい国ですね。」

趣味のスキューバダイビングを始めたのが在学中でした。これまでに海外約10カ所の海を潜ってきましたが、雅楽の講習と一緒にダイビング体験を話してくれたのがきっかけです。入学したその年の夏、すぐにライセンスを取るためフィジィーを渡航しました。この学生さんとは在学中にグアムへ一緒に潜りに行ったこともあります。

文学は過去から未来人と人をつなぐもの

今年で還暦を迎える節目の年です。書かなければいけないという、ある種の使命感があります。構想の一つは、今年で86歳になる母をモデルにした小説です。野間文芸新人賞をいただいた『海馬の助走』は、前年に他界した父の生涯を題材にした小説です。この作品は、父が自分の葬儀の際に参列者に配ろうとして書き残していた足跡を基にしました。母からは「おらのことも書いて」と頼まれたことがあります。母は旧姓に旧姓旧姓名をいいます。ですから、文学界新人賞をいただいた『脳病院へまゐります』と同じように、旧姓旧姓名遣いで書いてみたいと考えています。もう一つの構想は、私自身をモデルにした小説です。思春期の女子高生を主人公にした14年出版の『無花果日誌』(角川書店)では、17歳当時の私の心情や周

囲の風景をモチーフにしました。今度は、60年の人生を基にするか、一時代にスポットを当てるか、まだ思案中です。

若合さんにとって文学とは「過去から未来へ、そして人と人をつなぐものだと思います。在学中、神職資格を取るための実習で、長男と同世代の学生と一緒にと言っていたのですが、私の本が読みたいと言っていたとき、著書を差し上げたことがあります。実習先の神社の神職さんからも求められ、お送りしました。うれしかったですね。」

ペンネーム「春侑」の「春」は谷崎潤一郎の作品にあやかってのようですが、10年ほど前、お会いしたこともない女性からソーシャルネットワークキングサービズ(SNS)で「生まれた娘の名前に春侑とつけました」と連絡をいただいたことがありました。その娘さんは今、小学生に成長しているのでしょうか。巡り合わせを感じます。

まずは健康でいることです。3年前に脳梗塞で入院し、幸い後遺症はありませんでしたが、糖尿病と診断されてしまいました。執筆活動を再開させるためには、しなければならぬことがたくさんあると思っています。書くという行為は、自分の中にある世界をはき出すことですが、新鮮な情報や刺激を吸収しなければ、できません。かつては、新聞を何紙も購読し、古本店へ頻りに通って文芸誌や婦人誌の付録などを読みあさる毎日でした。しかし、執筆活動を休止してからは長い期間、日常生活に埋没してきてしまいました。ですから、まずは吸収することから始めたいですね。



Profile

若合春侑(わかい・すら) 本名・大滝優子。昭和33年8月11日生まれ、59歳。宮城県塩竈市出身。仙台白百合学園高校卒業、東北学院大学経済学部経済学科卒業。広告代理店営業社員や新聞社アルバイト、添削指導員などを経て、平成10年、デビュー作『脳病院へまゐります。』で第86回文学界新人賞を受賞。同作から3作連続で芥川賞候補になる。14年、『海馬の助走』で第24回野間文芸新人賞を受賞。15年、国学院大学文学部神道学科に学士入学し、17年卒業、明後検定「正剛」取得。



水天宮の境内の「子宝いぬ」(筆者提供)

戌年には、ペットから家族の一員となった愛犬の写真をプリントした年賀状を出す人が少なくない。これに對抗してか愛猫家からは猫の写真入りの賀状が届いたりする。どちらも新年を祝う人の心に届いている。猫が人の死にかかわるのに対し、犬は専ら人の生にかかわる場面によく登場する。戌年の境にして、困難な時代に置かれた日本の再生を願いたいものである。

年頭コラム 今年の干支にちなんで

安産祈願と犬供養

佐々木美智子(文学部兼任講師)

戌の日といえど妊婦による安産祈願を思い起す人は少なくない。犬は古来人々の身近な動物として可愛がられてきた。その犬のお産が軽いことから、十二支の戌の日に腹帯をするや安産になるといわれ、今日では、戌の日には無事な出産を願う人々で全国の神社は賑わう。各神社のホームページには戌の日カレンダーが載せられており、この日に安産を祈願する人の数が普段の日を凌駕する。

1930年代半ばに、日本全国で一斉に収集された産育にかかわる事例を掲載した『日本産育習俗資料集成』には、妊娠5か月、7か月などの戌の日に営まれる帯祝いが見られる。安産祈願にかかわる動物としては、熊も産が軽いとされ、その胎衣や肝などの干したものを腹帯に挟んでおくや安産するなどという報告も散見される。

関東平野を流れる利根川沿いには、子安講などの女人講の盛んな集落が数多く存在する。この講に参加する女性たちによる犬供養もまた、安産を願って行われる。ザガマなどと呼ばれる二股の木の塔婆を立て、講中の女性たちで線香をあげるなどして犬の供養をする。十五夜講や子安講の際に定期的に行われるものと、犬が死んだときに行われるものがある。

生後しばらくの外出となる初宮参りの際、魔除けとして赤子の額に鍋墨や紅で「犬」という文字を書く地域もあるなど、犬にまつわる話は少なくない。

写真は、日本橋にある水天宮の境内の「子宝いぬ」であるが、この犬をなぞると、安産、子授け、子どもの無事な成長などのご利益があるといわれている。

博物館 No.9 学芸員の資料ファイル

今月の資料 吉田神道行事壇(再現)

本資料は吉田神道(唯一神道)の護摩行事で用いられた壇を再現したものです。

室町時代後期に吉田兼俱(1435-1511)によって大成された吉田神道では、十八神道行事、宗源神道行事、神道護摩行事の3つを「三壇行事」といいます。

吉田神道は道教、仏教、陰陽道などの影響を受けており、この護摩行法も密教のものを神道化したものです。

展示内容: 本資料は、博物館の常設展示(神道展示室)でご覧いただけます。
ウェブサイト案内: <http://museum.kokugakuin.ac.jp/>



キャリアサポート

OB・OGアドバイス会

- 各業界で活躍する先輩から、企業の人事担当者には聞きづらい実践的アドバイスを聞けます。
- 2月17日(土)
- 13時10分～ ※入退場自由
- 3年生

模擬面接トレーニング

- 面接は「慣れ」が重要です。現役の人事担当者による模擬面接で、実践的なアドバイスをもらえます。
- 2月21日(水)～23日(金)
- 3年生

SPI非言語直前対策講座

- SPIの非言語分野の中でも重要な科目を集中して対策をする講座です。自分の実力に合わせてコースを選択して受講でき、人気企業のボーダーラインである偏差値60以上を目指します(苦手な人は基礎編受講を推奨)。
- ※基礎編・初級編の内容について

は、11月実施の「SPI非言語対策講座」と重複する部分がありますのでご注意ください

- ▶基礎編 = 2月14日(水)
- ▶初級編 = 2月15日(木)
- ▶応用編 = 2月16日(金)
- いずれも10時～15時40分
- 3年生

直前対策講座

- 就職活動直前の不安を抱えている3年生に、就職活動の基礎から見直す講座を開催します。実践を交えた講座で、2月中に復習、準備をしっかりと行い、3月のスタートに備えましょう。

- 書類自己PR編 = 2月6日(火)午前、9日(金)午後
- ▶業界職種研究編 = 2月6日(火)午後、9日(金)午前
- ▶グループディスカッション編 = 2月7日(水)午前、8日(木)午後
- ▶面接編 = 2月7日(水)午後、8日(木)午前
- 3年生

※詳細確認・申し込みはK-SMAPYのキャリアサポートシステムから

合格者向けオープンキャンパス

- 入学直前の不安を在校生が解消します。本学の情報発信を担う学生アドバイザーが、さまざまな企画を用意してお届けする「大学生のリアルな生活」を紹介します(予約不要・入退場自由)。
- 2月17日(土)
- 13時～16時
- 渋谷キャンパス120周年記念1号館
- 本学入学試験合格者
- 入学課 (☎03・5466・0141)

「文学塾」受講生募集

- 本学文学部が主催する高校生のための新たな学びの場です。文学部5学科の専任教員が専門性の高い内容で講義し、「もっと深く学びたい」「も

っといろいろなことを知りたい」という知的好奇心の強い皆さんの期待に応えます。「文学を学ぶ喜び」を、ぜひ体験してください!

- ▶1限 = 10時30分～12時
- ▶2限 = 12時50分～14時20分
- ▶3限 = 14時30分～16時
- 渋谷キャンパス120周年記念1号館2階
- 無料
- 高校生(教諭含む)

■本学HP (<https://www.kokugakuin.ac.jp/event/45445>) から申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入して郵送(〒150-8440渋谷区東4-10-28国学院大学文学部資料室付文学塾事務局宛)、☎(03・5466・4814)、✉(bun_siry@kokugakuin.ac.jp、件名を「文学

博物館

- 無料
- 10時～18時(入館は17時30分まで)
- ※3月12日(月)は休館

企画展「吉田家：神道と典籍を伝えた家～国学院大学図書館所蔵吉田家旧蔵資料～」

■吉田兼俱(1435～1511)によって大成された「吉田神道」(唯一神道、卜部神道)は、室町時代後期から江戸時代まで、神道界の中で大きな勢力を持っていました。吉田家は吉田社(吉田神社=京都)の神職を務めた卜部氏の一流で、平野家とともに『日本書紀』をはじめとする古典や、神々や祭祀に関わる知識

(神祇故実)に通じ、それらを継承することを使命としていました。吉田神道は、その家業や家学を基礎に、仏教・道教・陰陽道なども取り込んだ新たな神道であったといえます。吉田家が伝えてきた古典籍・古文書は昭和20年代に分散してしまい、国学院大学図書館は、その一部を所蔵しています。本展では、その吉田家旧蔵の古文書、古典籍、絵画を中心に展示します。本学所蔵の吉田家旧蔵資料がまとめて展示されるのは今回が初めてです。

- 3月3日(土)～4月15日(日)
- 博物館企画展示室

※博物館関連イベントの問い合わせは ☎03・5466・0359まで

文学塾 講義一覧

▶日本文学科(統一テーマ『羅生門』徹底<解体>—近代から古典まで—)

1限：『羅生門』の表現を考える	井上明芳准教授
2限：羅生門、鬼から知るか? 蛇から知るか?	飯倉義之准教授
3限：今昔物語集への日本語学的アプローチ	吉田永弘教授

▶外国語文化学科

1限：中国南方民族の言語と神話	黒澤直道教授
2限：母国語話者の謎	出世直衛教授
3限：世界を巡る釈迦伝	岩瀬由佳教授

▶中国文学科

1限：『論語』の言葉で考えよう	石本道明教授
2限：『漢書』東方朔伝を読む～中国古代の文学者の憂鬱	宮内克浩准教授
3限：中国の招魂歌と招魂儀礼	浅野春二教授

▶史学科

1限：縄文時代の岩陰遺跡を発掘する	谷口康浩教授
2限：中国の歴史展開と地理	金子修一教授
3限：春宮坊からみた承和の変	佐藤長門教授

▶哲学科

1限：かつて、チェルノヴィッツという街があった	藤野寛教授
2限：19世紀ジャポニスムの時代	小池寿子教授
3限：AIやロボットは心を持ちうるか? —「心の哲学」の授業から	金杉武司教授

塾受講申込)に)で。複数講座受講も可能。各講座の定員に達し次第、締め切ります。

■文学部資料室 (☎03・5466・4813)

本紙へのご感想をお待ちしています

「国学院大学学報」では、読者の皆さまからのご意見・ご感想を募集しています。今後、定期的に本紙にて「読者の声」を紹介していく予定です。掲載された方には、本学オリジナルグッズを進呈いたします。ご投稿は以下の要領をお願いします。

- ①今号の満足度5段階(低1～5高) ②本紙へのご意見 ③住所 ④氏名 ⑤所属など(在学生の場合<学科・学年>)、保護者、院友(本学卒業生)、本学・本法人教職員、その他いずれかを明記の上、はがき・FAXで国学院大学広報課(連絡先は1面参照)までお送りください。また、QRコードよりEメール作成画面を開くことができます。なお、お送りいただいた方の個人情報情報は法令に基づいて取り扱います。

※お寄せになられた原稿・お便りは返却いたしません



60年代終わりの、いまだ性別役割分業観が根強く

名前が与えられることが事実として認識されるた

育ての光景となる世の中

郊外生活を享受している

残る日本社会にあつて、

こころした現状を見事に

この本の著者で後に全



実として社会的に認識さ

ある一冊の本との出会

若木が丘 だより

必要である。例えば、過

まず「名付ける」ことから

インフォダイジェスト

●……在学生 ●……卒業生 ●……一般 ●……受験生
■内容 ■日にち ■時間 ■場所 ■対象 ■申し込み ■料金 ■問い合わせ

大学からのお知らせ

2・3月中の事務室開室および 証明書自動発行機稼働日程

2・3月中の下記事務室の開室と証明書自動発行機の稼働日時は、渋谷・たまプラーザキャンパスとも本学ホームページを参照してください。

▶神道研修事務部、教務課、学修支援センター、ボランティアセンター、LLC、教職センター、大学院事務課、学生生活課、保健室、学生相談室、キャリアサポート課、国際交流課、たまプラーザ事務課、図書館、コンピューター自習室

平成29年度の成績通知と卒業者の発表

■K-SMAPYで発表(4年生は卒業判定を兼ねます)、専攻科・別科は教務課窓口にて配付します。

■3月3日(土)

国学院大学生協への出資金返還

■生協加入時に預かった出資金の返還手続きを開始します。

■3月3日(土)~

■営業時間内

■生協事務所(渋谷・たまプラーザ)

■今年度卒業生

※生協事務所の営業時間は生協ホームページを参照(<http://www.kgucoop.or.jp/>)

本学の機関紙を定期購読してみませんか?

「国学院大学学報」は、本学のニュースや学生・院友(卒業生)・教職員の活躍をお届けする機関紙(年11回発行、8月は休刊)です。定期購読をご希望の方は、広報課までがき、FAX、メールでご連絡ください(年間購読料:500円<税込み・送料含む>)。連絡先は、1面参照。

オープンカレッジ 平成30年度受講生募集

■4月に開講する55講座の受講生を募集します。特別講座を除く各講座には独自の単位を設定。累積32単位となった時点で「国学院大学オープンカレッジ修了証」を授与します。

■・■・■別表参照

■・■[入会金]

▶一般=5000円

▶院友(本学卒業生)、若木育成会会員(在学生保護者など)、本学科目等履修生、他校学生・生徒=3000円

▶本学学生・本法人教職員=無料 [更新料(4年間有効)]

▶一般=3000円 ▶院友=2000円

▶本学学生・本法人教職員=無料 [受講料(テキスト代は含まれず)]

▶5回講座=1万円、10回講座=2万円、15回講座=3万円、20回講座=4万円

※若木育成会会員、本学学生・本法人教職員、渋谷区・横浜市青葉区在住者、他校学生・生徒は半額

■大学ホームページの専用フォーム、またはパンフレット(電話・FAXで請求)で開講講座を確認し、「受講申込ハガキ」または「FAX用受講申込書」で申し込みを。申し込み・受講料納付期限は3月23日(金)。

■エクステンションセンター
(☎03・5466・0270、
FAX03・5466・0528)

イベント 30

大学院・法科大学院学位記授与式



昨年の様子

■大学院の第66回学位記授与式、法

平成30年度 オープンカレッジ講座一覧

講座No	講座名	講師	場	回	曜	時	時期
01	神道を知る講座14 ー天皇の皇位継承と大嘗祭ー	岡田 莊司	渋谷	10	水	10:30~12:00	通年
02	『古事記』の神話を読む	谷口 雅博	渋谷	10	土	10:30~12:00	通年
03	万葉集を読む ー巻二挽歌を読み直すー	土佐 秀里	渋谷	10	木	10:30~12:00	通年
04	万葉考古学17	杉山 林継	渋谷	10	水	12:50~14:20	通年
05	大人のための万葉集 ー伝説歌の世界ー	城崎 陽子	渋谷	5	木	18:30~20:00	後期
06	目で見て学ぶ『源氏物語』 ー『若菜下』巻を読む②ー	大津 直子	渋谷	10	金	12:50~14:20	通年
07	能と文学13 ー古典文学から能へー	岩崎 雅彦	渋谷	10	木	14:30~16:00	通年
08	短歌を読む 詠む ー『万葉集』第13~14巻の鑑賞ー	豊島 秀範	渋谷	10	木	14:30~16:00	通年
09	『古今和歌集』を読む ー巻五(秋下)・巻六(冬)の95首ー	中村 幸弘	渋谷	10	金	12:50~14:20	通年
10	文学の風景 ー作家の発期ー	岡崎 直也	渋谷	10	土	10:30~12:00	前期
11	中国の神話・伝説 ー中国古代の人々の心ー	松田 稔	渋谷	10	木	12:50~14:20	後期
12	『論語』を読む ー朱子の注釈・日本人の解釈ー	石本 道明	渋谷	10	火	10:30~12:00	通年
13	史料でたどる日本と東アジアの古代史6 ー男と女の古代史ー	佐藤 長門	渋谷	10	水	10:30~12:00	通年
14	折口信夫・釋道空研究16 折口信夫『死者の書』を読む	小川 直之	渋谷	10	土	12:50~16:00	前期
15	日向の神話と神楽(宮崎県との連携講座)	小川 直之	渋谷	10	土	12:50~16:00	後期
16	週末の『源氏物語』講座(夕顔篇3~若菜篇1)	大津 直子	渋谷	20	土	12:50~14:20	通年
17	最終版・風水思想と東アジア	渡邊 欣雄	渋谷	10	水	12:50~14:20	通年
18	民俗学からみる日本の神々と祭り(前期)	新谷 尚紀	渋谷	5	水	14:30~16:00	前期
19	民俗学からみる日本の神々と祭り(後期)	新谷 尚紀	渋谷	5	水	14:30~16:00	後期
20	豊臣政権と五つの「家」	矢部健太郎	渋谷	5	月	12:50~14:20	通年
21	歴史の捉え方 ー人間こそが主人公ー	松平 定知	渋谷	10	月	14:30~16:00	通年
22	『平家物語』の谷合戦譚を読む	野中 哲照	渋谷	10	水	10:30~12:00	通年
23	遊べる日本美術4 ー日本美術にみる美人の系譜ー	藤澤 紫	渋谷	10	火	18:30~20:00	通年
24	華道に学ぶ ー花・葉・心を洗うー	鳥居 西月	渋谷	10	水	12:50~14:20	通年
25	グローバルズムとナショナリズムの国際情勢	久保田りり子	渋谷	10	金	18:30~20:00	通年
26	かなの鑑賞と実作 ー重之集に学ぶー	名児耶 明	渋谷	10	月	12:50~14:20	前期
27	漢字(一)楷書・ペン習字<初級・中級> ー漢字の基礎・古典の臨書(1)ー	小嶋 憲次	渋谷	10	月	14:30~16:00	前期
28	漢字(二)楷書・ペン習字<初級・中級> ー漢字の基礎・古典の臨書(2)ー	小嶋 憲次	渋谷	10	月	14:30~16:00	後期
29	漢字(三)楷書と草書(初級・中級)関中本「真草千字文」を学ぶI	筒井 茂徳	渋谷	10	木	14:30~16:00	前期
30	漢字(四)楷書と草書(初級・中級)関中本「真草千字文」を学ぶII	筒井 茂徳	渋谷	10	木	14:30~16:00	後期
31	漢字(五)行書(初級・中級)ー王羲之「集字聖教序」を習うー	野村ひかり	渋谷	10	金	10:30~12:00	前期
32	漢字(六)行書(初級・中級)ー王羲之「喪乱帖」「孔侍中帖」を習うー	野村ひかり	渋谷	10	金	10:30~12:00	後期
33	日本の漢字(一)行書・草書(初級・中級)ー空海・最澄を習うー	石井 清和	渋谷	10	木	12:50~14:20	前期
34	日本の漢字(二)行書・草書(初級・中級)ー空海・最澄を習うー	石井 清和	渋谷	10	木	12:50~14:20	後期
35	仮名(一)初級・中級ー美しい仮名を書きたい人のためにー	杉浦 妙子	渋谷	10	火	12:50~14:20	前期
36	仮名(二)初級・中級ー美しい仮名を書きたい人のためにー	杉浦 妙子	渋谷	10	火	12:50~14:20	後期
37	仮名(三)初級・中級)仮名書道の楽しみー散らし書きー	橋本 貴朗	渋谷	10	月	10:30~12:00	前期
38	仮名(四)中級)一本阿弥切ー	橋本 貴朗	渋谷	10	月	10:30~12:00	後期
39	仮名(五)中級)「高野切第三種」と同筆同系統古筆の研究	高城 弘一	渋谷	10	金	12:50~14:20	前期
40	仮名(六)中級)関戸本古今和歌集」と同筆同系統古筆の研究	高城 弘一	渋谷	10	金	12:50~14:20	後期
41	篆刻(一)初級) ー篆書・篆刻に親しむー	田村南海子	渋谷	10	水	10:30~12:00	前期
42	篆刻(二)初級) ー篆書・篆刻に親しむー	田村南海子	渋谷	10	水	10:30~12:00	後期
43	神道の歴史 ー京都の祭礼から読み解くー	大東 敬明	たまプラーザ	10	火	10:45~12:15	通年
44	『古事記』下巻を読む ー仁徳記ー	渡邊 卓	たまプラーザ	10	木	10:45~12:15	通年
45	源氏物語講読 ー「滯標」「蓬生」の2帖を読むー	林田 孝和	たまプラーザ	10	金	14:50~16:20	通年
46	松尾芭蕉の紀行文を読む ー「野ざらし紀行」ー	中村 正明	たまプラーザ	10	金	14:50~16:20	通年
47	『承久記』を読む	野中 哲照	たまプラーザ	10	金	10:45~12:15	通年
48	目で見て学ぶ『源氏物語』 ー「帚木」巻を読む②ー	大津 直子	たまプラーザ	15	金	14:50~16:20	通年
49	『万葉集』の恋歌を楽しむ ー大伴家持の青春時代ー	鈴木 道代	たまプラーザ	10	木	10:45~12:15	通年
50	俳句の楽しみ	波戸岡 旭	たまプラーザ	10	木	14:50~16:20	通年
51	漢詩の味わい ー「おくのほそ道」のなかの漢詩の世界ー	波戸岡 旭	たまプラーザ	10	木	14:50~16:20	通年
52	『大鏡』を読む ー摂関政治と平安文学史上の有名なたちー	中村 幸弘	たまプラーザ	10	月	13:05~14:35	通年
53	芥川龍之介を読む	安西 晋二	たまプラーザ	10	月	14:50~16:20	通年
54	健康と運動の心理学 ーこころの健康を保つコツー	伊藤 英之	たまプラーザ	5	火	13:05~14:35	前期
55	共催 一般財団法人冠婚葬祭文化振興財団・互助会保証株式会社・株式会社冠婚葬祭総合研究所 特別講座 「儀式創新一過去から学ぶ現代の潮流」	石井 研士	たまプラーザ	5	金	14:30~16:00	通年

※講座番号が白字のものは新規開設講座、場所の「渋谷」は渋谷キャンパス、「たまプラーザ」はたまプラーザキャンパス

科大学院の第13回学位記授与式を以下の通り執り行います。

■3月16日(金)

■11時~

■渋谷キャンパス学術メディアセンター常磐松ホール

※13時30分から若木タワー有栖川宮記念ホールで祝賀会を開催します

卒業生も必携! 「国学院カード」

三井住友VISAカードと提携したクレジットカード「国学院カード」をぜひお手元に。在学生には「国学院カード」、卒業生・教職員には、「同クラシック」と「同ゴールド」をご用意しています。付帯サービスも続々追加予定です。ぜひ本学WEBサイト内「国学院カード」申し込みページからお申し込みください。

「国学院カード」申し込みページURL
<https://www.kokugakuin.ac.jp/graduate/service/p3>



	国学院カード	国学院カード クラシック	国学院カード ゴールド
商品名			
追加カード ラインナップ	ETC ID 専用カード ID 携帯型	ETC ID 専用カード ID 携帯型 家族	ETC ID 専用カード ID 携帯型 家族
入会資格	学生の方	卒業生および修了者の方 / 教職員の方 / 関係者の方	卒業生および修了者の方 / 教職員の方 / 関係者の方
申込資格	満18歳以上の学生 (進学予定の17歳は対象) ※国学院大学生協同組合への加入が必須条件になります。	満18歳以上の方 (学生は除く)	原則として、満30歳以上で、 ご本人に安定継続収入のある方 (学生は除く) ※ゴールドカード独自の審査基準により発行させていただきます。
年会費	無 料	・初年度無料 ・2年目以降1,250円 + 税 ただし、前年に50,000円カード利用で無料	10,000円 + 税 マイ・ペイすりぽ+Web明細により 初年度無料

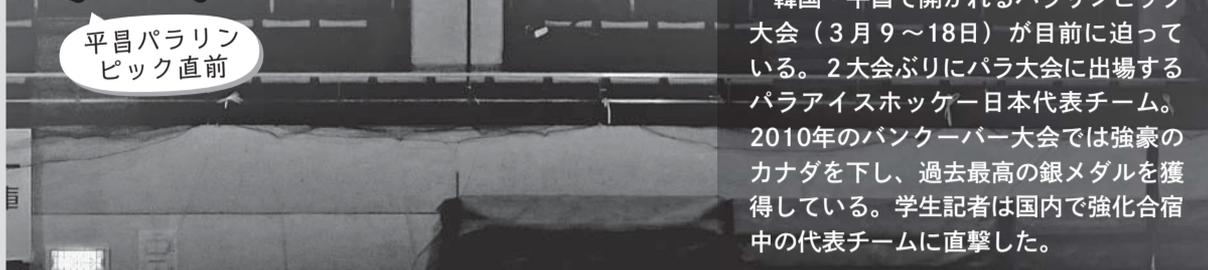
学生記者が
行く！

K:DNA X CHALEATH
by CHALLENGED ATHLETE PROJECT

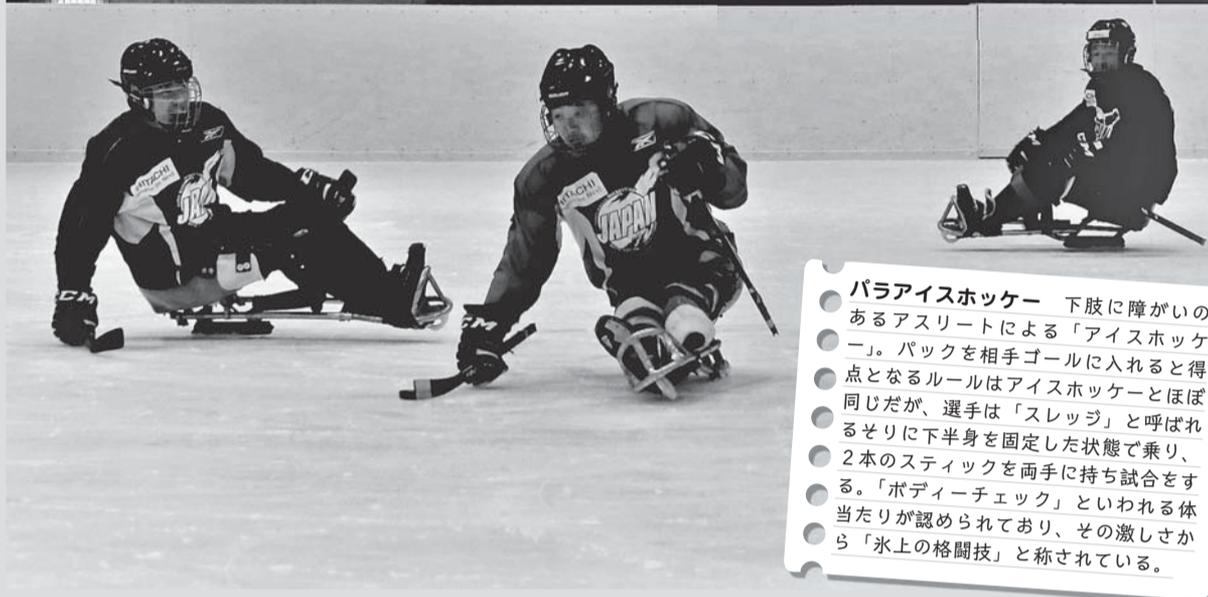
抜群の「安定感」でメダル獲得へ

パラアイスホッケー直撃取材！

平昌パラリンピック直前



韓国・平昌で開かれるパラリンピック大会（3月9～18日）が目前に迫っている。2大会ぶりにパラ大会に出場するパラアイスホッケー日本代表チーム。2010年のバンクーバー大会では強豪のカナダを下し、過去最高の銀メダルを獲得している。学生記者は国内で強化合宿中の代表チームに直撃した。



● **パラアイスホッケー** 下肢に障がいのあるアスリートによる「アイスホッケー」。パックを相手ゴールに入れると得点となるルールはアイスホッケーとほぼ同じだが、選手は「スレッジ」と呼ばれるそりに下半身を固定した状態で乗り、2本のスティックを両手に持ち試合をする。「ボディチェック」といわれる体当たりが認められており、その激しさから「氷上の格闘技」と称されている。

平昌大会に挑む日本代表チームの強みは、「安定感」だと中北浩仁監督、須藤悟主将は口を揃える。現在、日本代表選手の平均年齢は41歳。強豪国の米国やカナダに比べれば圧倒的に年齢が高い。中には、パラ大会に4度出場している大ベテランもいて、他国に比べ大舞台の経験が豊富であることが、チームの安定感を生み出している。

28歳から61歳まで親子ほども年の差がある選手たちの間には、臆せず互いに意見を交わしあう雰囲気がある。合宿の練習中も、シュートやパス回しについて、意見を交わしあう選手の姿が目立っていた。チームの高い結束がうかがえる。

氷上をすばやく滑走し、ボディチェックをしながらパックを奪う様子からは、障がいも年齢も感じさせない迫力が伝わってくる。

「ソチ大会は本大会出場をかけた予選で敗退し、辞めていった選手もいた。チームはつらいときを乗り越えてきた。3月の本番に向けてモチベーションを高め、メダルに絡める結果を残したい」と中北監督は語る。

今大会は、NHKで中継される予定だ。メダルを狙うパラアイスホッケー日本代表の激しい戦いをテレビで見届けてほしい。

〈取材〉本間



蹴球部

東京都大学サッカー連盟 新人大会で優勝

アンプロチャレンジ2017第49回東京都大学サッカー連盟新人大会で、本学蹴球部が優勝した。昨年12月2日から始まった予選リーグを1位で突破した同部は、決勝トーナメントも接戦を制して決勝に進んだ。23日に味の素スタジアム西競技場で行われた帝京大学との決勝戦を延長戦の末2-1で勝利し優勝を果たした。



柔道部

部員たちが運営し 松尾三郎杯争奪全国選抜 高等学校柔道大会

第31回国学院大学松尾三郎杯争奪全国選抜高等学校柔道大会（国学院大学柔道部主催、毎日新聞社後援）が、昨年12月24日にたまプラーザキャンパス体育館で開催された。

大会には、全国64校が出場。1校5人で対戦する団体トーナメント戦で進められた。決勝戦では、桐蔭学園（神奈川）が国士館（東京）を下し、2連覇を果たした。3位は、日本体育大荏原（東京）と崇徳（広島）。優秀選手には賀持善道（桐蔭学園）、千野根有我（同）、酒井陸（国士館）、内藤彪我（日体荏原）、八木郁実（崇徳）の5選手が選ばれた。

本大会は、松尾三郎元理事長のスポーツ振興、とりわけ柔道振興に尽力した功績を顕彰することなどを目的に毎年開催され、柔道部員が主体となって運営している。



学生記者のツボ

テーマ 大学帰り何してる？

渋谷だけではなく、表参道、恵比寿、代官山へも歩いて15分ほどの渋谷キャンパス。授業の後に少し足を延ばして、学生は思い思いの時間を過ごしています。



友人と一緒に、渋谷のLOFTや東急ハンズでかわいいコスメ探し！

石原 礼菜
(日文1)



恵比寿ガーデンプレイスの38階にあるスカイラウンジで東京の夜景を眺める

尾澤 桃子
(法3)



落ち込んだ時は地元吉祥寺のカフェへ。仲間で集まって楽しく過ごします

後藤 哲治
(日文2)



部活帰りに友人と、大学近くのおいしいラーメン屋さんを開拓する！

鈴木 亜美
(日文1)



南青山の根津美術館で展覧会を見たあとに、庭園の散策やお茶をしつつく

永井 伶奈
(日文4)



並木橋交差点近くの定食屋で担々麺を食べて頑張った自分にご褒美

本間 由
(日文3)



原宿や中目黒で古着屋をハシゴする。たまには下北沢まで足を延ばすことも

柳下 桂一郎
(史3)



代々木公園まで運動を兼ねて歩き、ベンチに座りながら考えごとをする

山本 莉紗子
(外文2)

今回の企画はCHALLENGED ATHLETE PROJECTとコラボしたものです。同プロジェクトホームページ（下記URL）に詳しい合宿の様子を掲載しています。併せてご覧ください。
<https://www.challeath.com/detail.php?rid=475>

沿道で見た箱根駅伝

応援・サポートに込められた思い

正月の風物詩ともいえる箱根駅伝には全国から注目が集まる。全10区間217.1kmの過酷な戦いに挑む選手たちに、沿道からの熱い声援は途切れることがない。本学では、大学・院友会などによる「駅伝応援の会」が中心となり、多くの院友、父母、学生、教職員が全10区間の20を超える応援ポイントから声援を送った。

また、大手町と箱根・芦ノ湖のスタート・ゴール近くでは、全学応援団、吹奏楽部、ドリル競技部SEALSの応援3部会が応援のパフォーマンスを披露。陸上競技部員は裏方として選手を支えた。

現地で選手を励ます人々は、どのような思いを込めて応援していたのか。学生記者が沿道で出会った人々の声をまとめた。

- ①応援に込めた思い
- ②沿道で応援して今思うこと

1区 大手町～鶴見

〔早朝にもかかわらず、品川駅前の本学指定応援ポイントには20人以上が集まった〕

舛田和夫さん(経ネ3)



②(現地で)応援することでチームの一員として参加しているようでした。

石山昭彦さん(国際交流事務部次長)



②今回はボランティアとして初めて応援に参加する学生が多かったので、初めて応援に来た学生が少しでも楽しめるように、という思いがありました。

2区 鶴見～戸塚

〔「花の2区」を職場仲間と応援する、学生のご家族がいた〕

長谷部武さん(子ども支援学科学生の父親)



①昨年から実際に沿道で応援しています。選手たちの激走に感動し、直接見て応援したいという気持ちになりました。
②細身の学生が一生懸命走っている姿に衝撃を受けました。

3区 戸塚～平塚

〔早くから「国学院大学」の旗を持ち、選手の通過を待つ1人の男性に出会った〕

山崎武さん(自動車部OB、昭35卒・68期文)



①自分たちが学生のおときは、スポーツはあまり強くありませんでした。元気なうちに母校が優勝する姿を見たいです。
②大学と院友が連携して快適な応援ができています。

10区 鶴見～大手町

〔冷たい強風が吹く中、応援3部会(全学応援団・吹奏楽部・ドリル競技部)の学生が、懸命にエールを送った〕

大峰真也さん(全学応援団団長、経営4)



①会場を盛り上げるために、まず自分たちが楽しんで、周りも楽しませ、大きな声援をしっかりと選手に届けなければ、という気持ちで応援をしてきました。

小林理美さん(吹奏楽部、子支4)



①応援が選手に届いていることを信じて、手を抜かずに練習してきました。選手がつらいときや孤独を感じたときに、自分たちの応援が活力になっていたらうれしいです。

福島由恵さん(ドリル競技部SEALS応援リーダー、子支3)



①箱根駅伝は、(自分も)選手も思い入れのある大会。3部会で協力して作り上げてきた最高の応援を、しっかり選手に届けられるようにと思って頑張りました。

報告会 大手町

〔レース終了後、大手町で陸上競技部から結果報告が行われた〕



8区を走った 松永拓馬選手(法4)のご家族

①4年生なので最後の箱根駅伝。とにかく無事に走ってほしいと思って応援しました。

谷口水綺さん(陸上競技部マネージャー、経ネ4)



①シードを獲って最後(の箱根駅伝)を終わってほしいという気持ちが強くありました。
②今年の夏合宿での練習も、4年生が主体となって今までで一番良い合宿ができていたと思います。その力が出せなかったのが本当に悔しかったです。

KOSPIRITS 競技開始から3年半で関東準V

射撃競技は「意思のスポーツ」

射撃部に所属する小林直人選手(史4)が昨年9月に埼玉県内で開催された「平成29年度関東学生スポーツ射撃選手権大会秋季大会」の50mライフル伏射60発競技男子個人で準優勝を飾った。小林選手は初心者として大学から新たに射撃競技を始め、4年間のひたむきな努力を結実させた。

——射撃競技を始めようと思ったきっかけは小林選手(以下、小林) 大学に入ったら何かを始めたいと漠然と考えていました。そんなとき、テレビのドキュメンタリー番組で、ある高校の射撃部の活動が紹介されているのを見て、銃を構えて集中している姿に魅力を感じました。心を落ち着かせて標的を狙うという競技の特性にも興味を持ちました。大学から始める人も多いので、スタ

ートラインが同じなら新しく始めても上位を狙えるのではないかと考えました。
——競技としての難しさは小林 始めて感じたのは、想像以上に繊細な競技だということです。射撃という競技は「意思のスポーツ」だと思うんです。ただ標的を狙って引き金を引くという行為でしかないのに、練習不足や心の乱れ、迷いがあると成績に如実に表れてしま



射撃部 小林直人選手

います。これをすれば必ず当たるようになるという答えはありませんから、なるべく視点を増やすようにしています。

インタビューの詳細は、本学ホームページ内「国学院メディア」に掲載

K:DNA——創立135年目を迎えた国学院大学の**遺伝子**…個人・個性を尊重する校風 若いエネルギーが未来を変える

●編集 総合企画部広報課/学生アドバイザーメディアチーム [永井伶奈(日文4)/尾澤桃子(法3)/本間由(日文3)/柳下桂一郎(史3)/後藤哲治(日文2)/山本莉紗子(外文2)/石原礼菜(日文1)/鈴木亜美(日文1)]

第94回箱根駅伝

11度目の挑戦 総合14位 下級生の力走光る

1月2、3日に行われた第94回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)で、11回目の出場となった本学陸上競技部は総合14位だった。大会は青山学院大学が4連覇、2位東洋大学、3位早稲田大学と続いた。

レースは、2日午前8時に東京・大手町をスタート。1区の浦野雄平選手(経営2)が終盤にスパートをかけた東洋大学にくらいつき、2位でたすきをつないだ。主将・向晃平選手(健体4)がスピードに乗れず18位まで順位を下げたが、続く青木祐人選手(経ネ2)、土方英和選手(健体2)が区間一桁の快走で9位まで順位を引き上げた。山登りの5区で順位を落としたものの、14位で往路を終えた。

復路は、2年連続7区の内田健太選手(法4)が区間5位となる力走をみせたが、先行するチームとの差は広がり、9・10区のたすき渡しとなる鶴見中継所では繰り上げスタートまで5秒間に合わず、たすきが途絶えた。しかしアンカー・江島峻太選手(経3)が最後まであきらめずに上位を目指し、区間5位となる走り、総合14位(11時間18分06秒)でゴールテープを切った。

レース終了後、前田康弘監督は「一桁順位が5区間あったことは収穫。課題と収穫を未来につなげる」と語った。向主将は「頼もしい後輩が結果を出した。国学院大学はこれから強くなる」と後輩たちのさらなる奮起を促した。

今回、1区2位の浦野選手をはじめ出場した2・3年生4人が区間順位5位以内に入り、強豪校と対等に渡り合った。今回の収穫をチームの糧として来季の予選会突破と7年ぶりのシード権奪還に挑む。

沿道は、本学の全学応援団、吹奏楽部、ドリル競技部SEALSのほか、学生・教職員、そして院友や父母らの大きな声援に包まれた。【Ⅱ面関連】

第94回箱根駅伝(個人結果)

区間	氏名	所属	区間順位	区間	氏名	所属	区間順位
1区	浦野 雄平	経営2	2	6区	臼井 健太	健体1	19
2区	向 晃平	健体4	20	7区	内田 健太	法4	5
3区	青木 祐人	経ネ2	5	8区	松永 拓馬	法4	16
4区	土方 英和	健体2	3	9区	熊耳 智貴	法4	14
5区	河野 敢太	経営4	18	10区	江島 峻太	経3	5

第94回箱根駅伝(総合順位)

順位	大学名	総合タイム
1	青山学院大	10時間57分39秒
2	東洋大	11時間02分32秒
3	早稲田大	11時間09分09秒
4	日本体育大	11時間09分28秒
5	東海大	11時間10分09秒
6	法政大	11時間10分20秒
7	城西大	11時間12分12秒
8	拓殖大	11時間12分32秒
9	帝京大	11時間13分26秒
10	中央学院大	11時間14分25秒

以上、シード権獲得

11	順天堂大	11時間14分39秒
12	駒沢大	11時間15分13秒
13	神奈川大	11時間17分08秒
14	国学院大	11時間18分06秒
15	中央大	11時間19分26秒
16	大東文化大	11時間22分58秒
17	東京国際大	11時間22分59秒
18	山梨学院大	11時間23分24秒
19	国士舘大	11時間26分42秒
20	上武大	11時間32分42秒
オープン参加	関東学生連合	11時間40分02秒

